



2024年3月期 第2四半期決算補足説明資料

福山通運株式会社
(証券コード：9075)

2023年11月8日

1.連結業績

- 売上高 : 【運送事業】輸送量が前年を下回り減少
【流通加工事業】倉庫稼働率は改善したものの取扱量が減少
【国際事業】海上運賃の下落により減少
【その他事業】新規連結により工事収入が増加、国内外の団体旅行の回復により商品販売収入が増加
- 営業費用 : 2024年問題への対策強化により外注費が増加
- 営業利益 : 主力である運送事業の売上高の減少と人件費・物件費の増加により減少

(単位：百万円/%)

項目	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額	前年同期比
売上高	145,325	141,229	△4,095	97.2
営業費用	133,636	134,991	1,355	101.0
営業利益 (営業利益率)	11,688 (8.0)	6,237 (4.4)	△5,450	53.4
経常利益 (経常利益率)	12,350 (8.5)	7,175 (5.1)	△5,174	58.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,056	4,384	△3,672	54.4

2. 営業費用

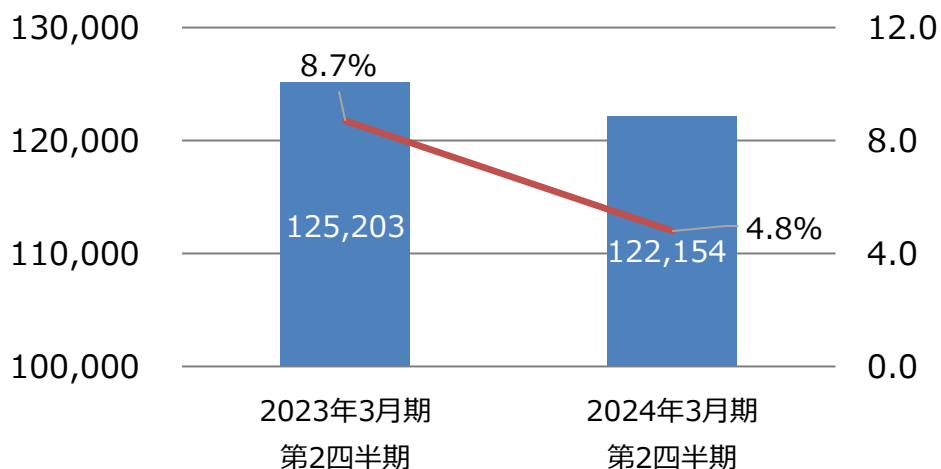
- 人件費：賞与、外注人件費が増加
- 物件費：老朽化対応により修繕費が増加、配送用ハンディターミナルの更新により備用品費が増加
- 諸費：海上運賃の下落により国際関係費用が減少
- 減価償却費：機械装置の減価償却費が減少

(単位：百万円/%)

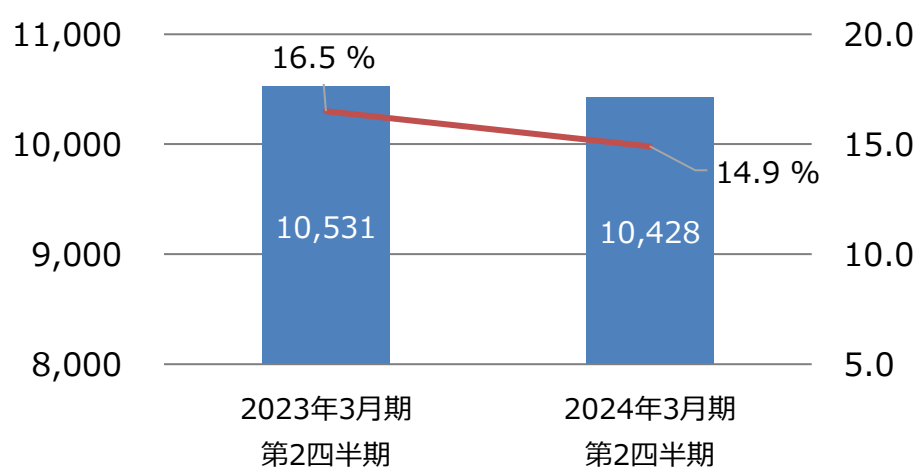
項目	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減額	前年同期比
人件費	63,590	64,935	1,344	102.1
物件費	46,514	47,592	1,078	102.3
諸費	16,332	15,301	△1,031	93.7
減価償却費	7,198	7,162	△36	99.5
営業費用	133,636	134,991	1,355	101.0

3.事業別売上高と利益率

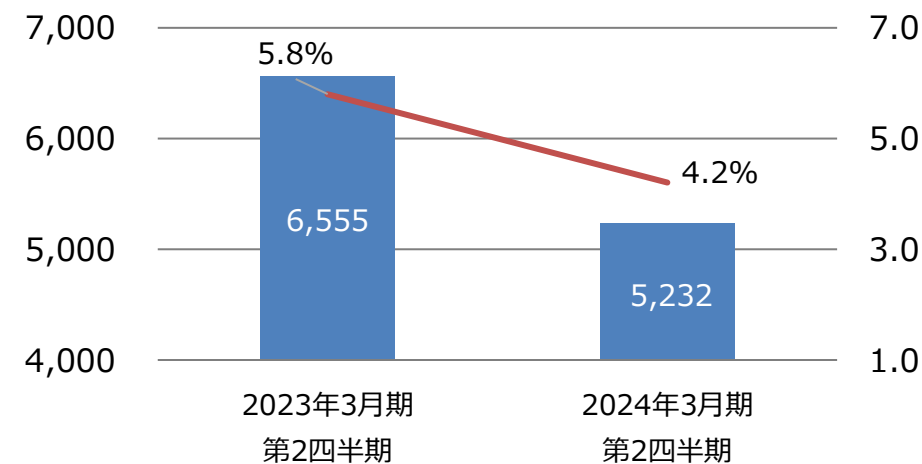
運送事業 (ネットワーク・チャーター・引越など当社グループの中核事業)



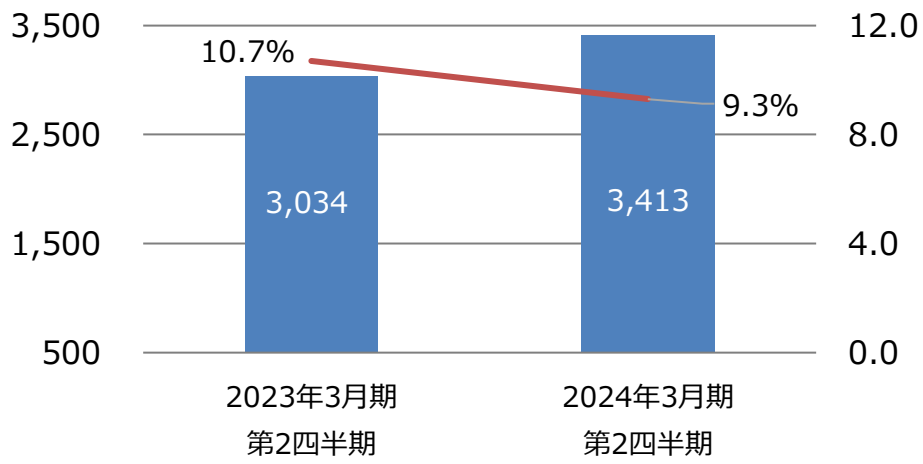
流通加工事業 (貨物保管・物流加工) (単位：百万円/%)



国際事業 (国際運送・国際利用運送 (フォワーディング)・通関)



その他事業 (不動産賃貸・商品販売・コンビニ・ボウリングなど)



■ 売上高 ■ 利益率

4. 運賃是正と顧客構造改革

輸送 4 要素

(前年同期比/単位：%)

	トンキロ単価	個当り単価	Kg当り単価
小口貨物	99.1	99.7	99.3
商業小口	99.3	99.5	99.9
商業貨物	100.7	100.3	100.7
重厚長大	100.3	101.6	100.2
全体	99.9	100.2	100.1

運賃占有率

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期
小口貨物	28.6	28.5
商業小口	24.4	24.4
商業貨物	22.6	22.7
重厚長大	24.4	24.4

重量占有率

	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期
小口貨物	18.7	18.9
商業小口	23.5	23.6
商業貨物	27.1	26.9
重厚長大	30.7	30.6

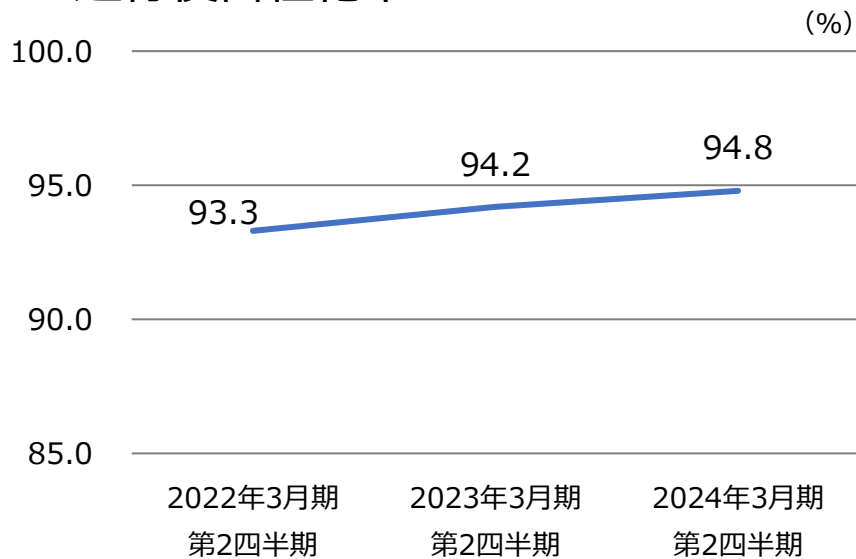
* 当社の荷物分類定義

小口貨物：1件1個30kg以下 商業貨物：1件6個121kg以上

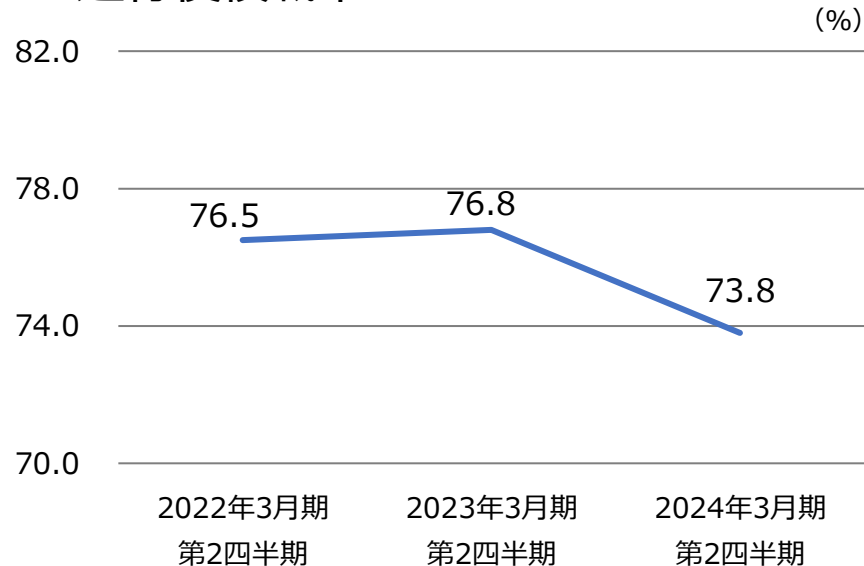
商業小口：1件5個120kg以下 重厚長大：1個100kg以上または1件500kg以上

5. 運行便指標の推移

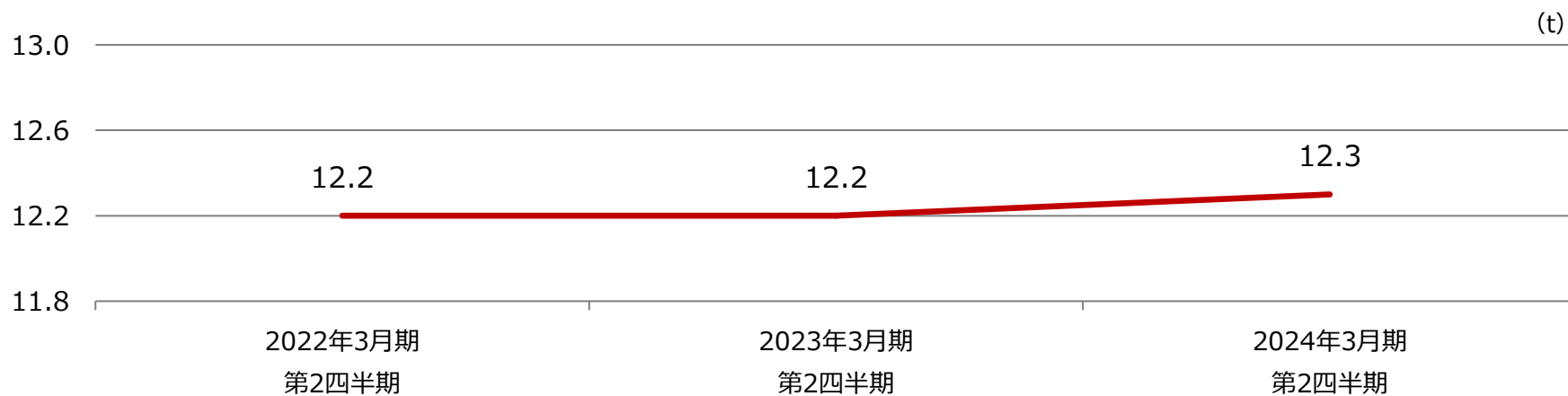
■ 運行便自社化率



■ 運行便積載率



■ 輸送能力 (車両1台あたりの積載量)



6.2024年3月期の取り組み

当社グループおよびパートナー企業を取り巻く環境の変化に対応するため

2024年1月より基本となる積合わせ運賃、宅配運賃を改定並びに既存契約に対し長距離対応、適正重量收受の対応を進め単価改定を行う

背景

課題	項目	対応
2024年問題	人件費	給与アップ、増員
エネルギー価格	車両・燃料・電気等	高騰
パートナー企業	備車・人材派遣	ベースアップ
環境問題 (グリーン物流)	カーボンニュートラル	EV車両等購入 モーダルシフト
輸送品質維持・ 向上	増員、増便	増員、増便 (パートナー含)



対応策

・適正運賃收受の取り組み

2024年1月

届出運賃改定 10%

宅配運賃改定 平均6%

- ・自動計測による適正重量・運賃收受
- ・運賃改定の実施

安全・安心の確立と持続的な安定輸送の提供

お客様

パートナー企業

従業員

7. 運賃改定

2024年問題に対応するための賃金制度改定と原資となる運賃の改定を行う

運賃改定

2024年1月
届出積合わせ運賃改定

1. 基本運賃ベースアップ

- ・2024積合わせ運賃の届出 平均10%
- ・フクツー宅配運賃の改定届出 平均6%

2. 距離別運賃の見直し

- ・長距離荷物の改定 (601km以上)
- ・小口荷物・地区内荷物の取り扱い拡大

3. 不適正運賃・重量是正

- ・SDによる少額荷主への運賃是正
- ・当社自動計測機を活用した重量計測の適用

重量・運賃 割合と前期比	重量	運賃	運賃				
			地区内	近距離	中距離	長距離	
			50Km以内	51~100Km	101~600Km	601Km以上	
小口貨物	割合	18.7%	28.4%	4.6%	3.0%	13.7%	7.1%
	前期比	100.1%	97.2%	98.3%	97.2%	98.5%	99.9%
商業小口	割合	23.6%	24.5%	2.6%	2.4%	12.4%	7.1%
	前期比	99.7%	98.6%	100.8%	98.6%	98.9%	100.5%
商業貨物	割合	27.2%	22.8%	1.9%	2.0%	11.7%	7.2%
	前期比	99.1%	99.6%	100.5%	99.6%	99.5%	100.8%
重厚長大	割合	30.5%	24.3%	1.5%	1.6%	12.7%	8.6%
	前期比	99.3%	100.0%	98.1%	100.0%	100.2%	100.2%
合計	割合	100.0%	100.0%	10.6%	8.9%	50.5%	30.0%
	前期比	99.5%	99.5%	99.3%	98.6%	99.3%	100.4%

※前期比は2022年度 通期

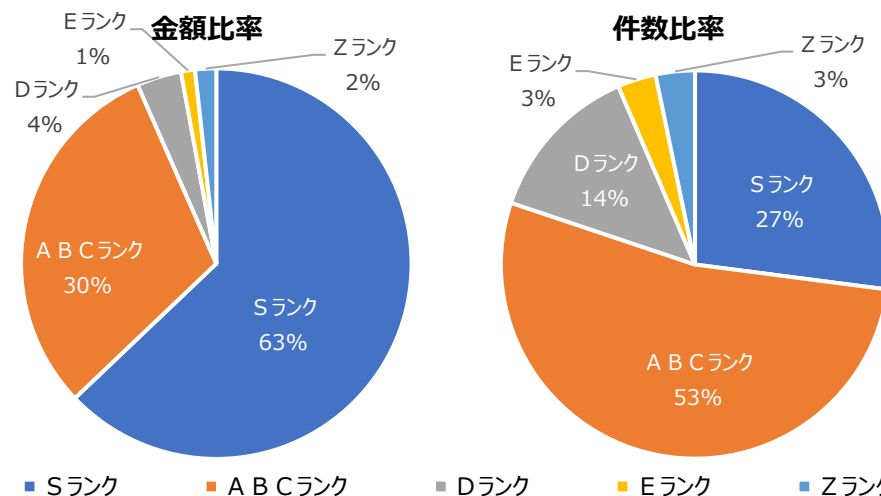
収支評価荷主の再分割

1. 不採算荷主 (Zランク荷主) の追加

- ・赤字荷主 (支払い率100%以上) の運賃是正の徹底
- ・DEランク荷主の運賃契約の交渉

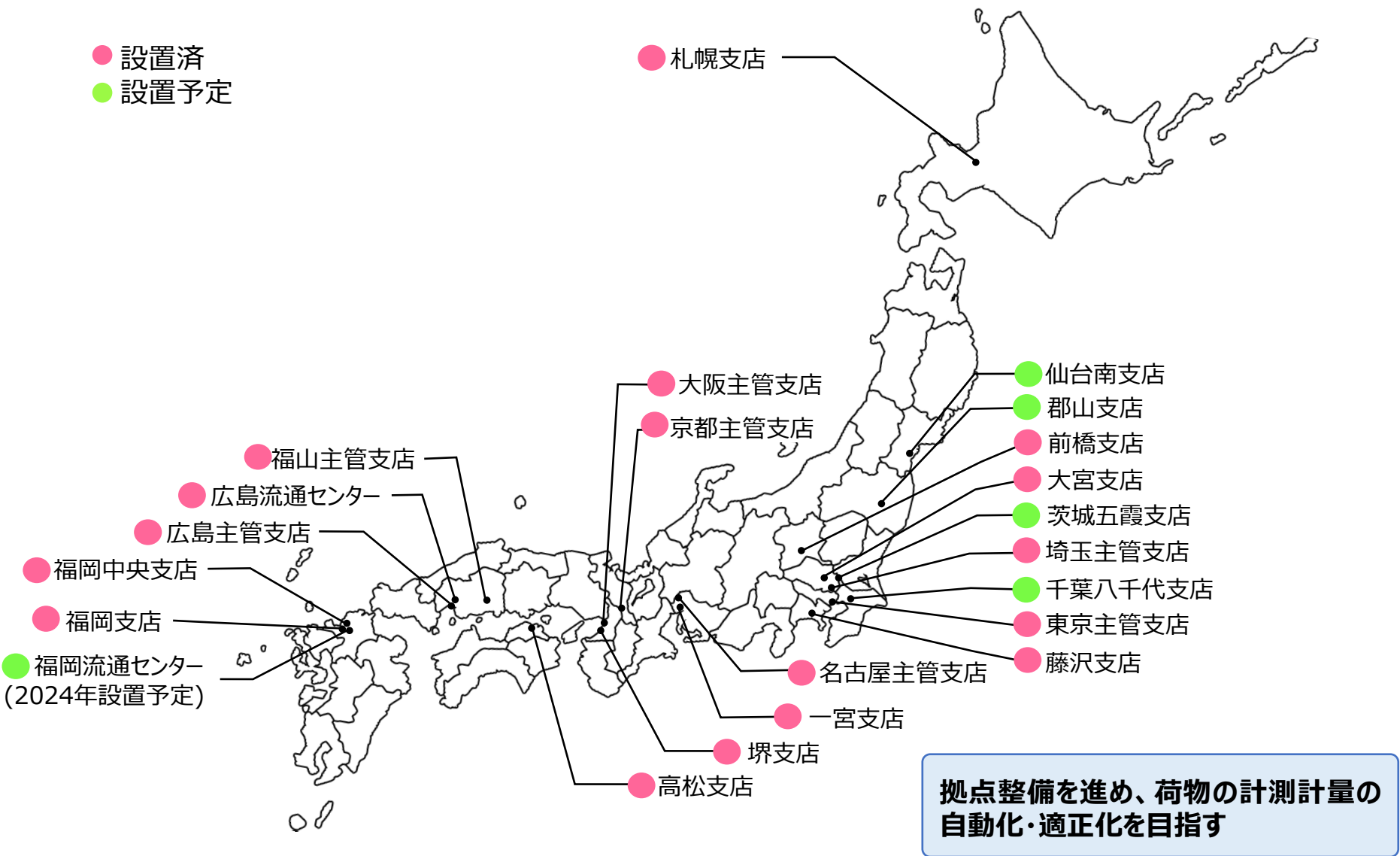
2. 高収益荷主 (Sランク荷主) の追加

- ・利益水準の高い荷主への出荷シェア拡大交渉



2023年9月末現在

8. 荷物自動計量計測機導入拠点



9.2024年3月期 連結業績予想

(単位：百万円/%)

項目	2023年 3月期実績	2024年 3月期予想	前期比
売上高	293,358	287,200	97.9
営業利益 (営業利益率)	21,375 (7.3)	11,500 (4.0)	53.8
経常利益 (経常利益率)	22,985 (7.8)	13,000 (4.5)	56.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	20,791	8,800	42.3



本資料は、当社グループの財務情報、経営指標等の提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。
内容については、細心の注意を払っておりますが、妥当性、正確性、有用性について保証するものではありません。
将来の業績に関する内容が一部含まれておりますが、こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、様々な要因によって変動する可能性があることにご留意ください。
投資に関する最終決定は、ご自身の判断で行うようお願いいたします。当社としては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。